

## アークヒルズ サウスタワー竣工式 挨拶

森ビルの辻でございます。

建築主としまして、ひとことご挨拶させていただきます。

まず、共同事業者の皆さまと共に、今日の日を迎えることができましたことを大変うれしく思います。これもひとえに、国土交通省、東京都、港区、東京地下鉄株式会社などの関係機関の皆さま、周辺町会など近隣の皆さま方のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

また、技術の粋を注いで素晴らしい街に仕上げてくださいました設計者、施工者の皆さまにも心から御礼申し上げます。

「アークヒルズ サウスタワー」は、その名が示すとおり、「アークヒルズ」の南の玄関であり、未来の国際都心を構成する重要なピースです。皆さまのおかげで、その役割を担う街が出来上がりました。

民間最大の再開発、様々な機能が複合した街、「アークヒルズ」が完成して27年、緑やコミュニティが育ち、経済と文化がつながり、世界に開かれ、常に新しい刺激に満ちた街に成熟いたしました。

しかし、街づくりに完成はありません。

アークヒルズを通じて、我々は「都市を育む」ことを学びました。そして、世界をリードする人々や企業を惹き付ける「都市の磁力」について、考えつづけてまいりました。

自らの幸福、隣人との共生、世界のありよう、新しいビジネス、そうしたことを日々考えながら暮らし働く人々…。そうした人々を迎える街をエリアに広げ、多彩な国籍と文化的背景をもった人々が、友人としてつながる場と仕組みを実現したいと考えております。

「アークヒルズ サウスタワー」は、こうした考えを受け継ぎつつ、アークヒルズに新たなパワーを加えるものと信じております。

21、25 森ビルの建替えという今回の再々開発は、アークヒルズがエリアとして国際都心に進化していく道筋を示すものです。

今回、素晴らしいパートナーと出逢い、「複数の企業が志を共有すれば、実現のスピードが加速する」ことを実感いたしました。

森ビルは、このエリアに深く根ざした企業市民として、これからもエリア内の様々な開発をつなぎ、人と企業と地元をつなぎ、緑をつなぎ、経済と文化をつないでまいります。

そして、皆さまと共にこのエリアの未来図を描き、街づくりのリード役としての責任を果たしていく、このことをお約束いたしまして、私のご挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。